

## 個別施設計画

### 施設ごとの方針及びマネジメント期等一覧

#### (5) 産業系施設



◆個別施設計画

(1) 施設概要

施設名称	香美市いんぷおめーしょん	所属課	商工観光課商工観光班
大分類	産業系施設	中分類	産業系施設
所在地	土佐山田町東本町1-5-1	総延床面積 (㎡)	26.00
設置目的・役割	商店街及び観光等に関する情報を提供し、商店街の振興及び観光客の誘致を促進するため。		
根拠条例等	香美市情報発信交流施設の設置及び管理に関する条例		

(2) 施設を構成する主な建物及び更新等推計費用

建物名・棟名	延床面積 (㎡)	構造	建築年月日	建築後30年後 大規模改修費 (千円)	建築後60年後 建て替え費 (千円)
香美市いんぷおめーしょん	26.00	木造	2010/2/25	6,500	10,400

(3) 施設老朽化判定 (主な建物のみ表示)

現地 (目視) 調査による建物老朽化判定					
屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
A	A	A	A	A	100

(4) 実施計画

施設に係る 主な工事業 (予定含む)	実施年度	主な工事業	工事業費 (千円)	
	平成28年度	キャラクター壁修理	584	
管理上の課題	キャラクターの利用には著作権の問題があり、修繕費用も高額となる。			
今後のあり方	劣化した看板等については、アンパンマンのイメージを崩さないように修繕していく。			
方針	1	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。	マネジメント期	-

(5) 施設を構成する主な建物または劣化箇所

○やなせ・F・T・N ○やなせたかし

香美市いん ぷおめーしょ ん		屋根・屋上	
天井		内部	

◆個別施設計画

(1) 施設概要

施設名称	農業振興センター	所属課	管財課管財班
大分類	産業系施設	中分類	産業系施設
所在地	土佐山田町1689-1	総延床面積 (㎡)	490.03
設置目的・役割	香美市の農業振興のため、地域農業の拠点とし、地域農業の発展と活性化に寄与するとともに、広く市民の福祉向上を図ることを目的として設置する。		
根拠条例等	香美市農業振興センターの設置及び管理に関する条例		

(2) 施設を構成する主な建物及び更新等推計費用

建物名・棟名	延床面積 (㎡)	構造	建築年月日	建築後30年後 大規模改修費 (千円)	建築後60年後 建て替え費 (千円)
農業振興センター	401.83	鉄骨造	1982/4/1	100,458	160,732
倉庫	88.20	鉄骨造	1982/4/1	22,050	35,280

(3) 施設老朽化判定 (主な建物のみ表示)

現地 (目視) 調査による建物老朽化判定					
屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
B	B	B	B	B	75

(4) 実施計画

施設に係る 主な工事事業 (予定含む)	実施年度	主な工事事業	工事事業費 (千円)	
	平成29年度	空調機取替工事		697
管理上の課題	建物については、2つの外部団体に半分ずつ貸し出しており、倉庫については、市(商工観光課・定住推進課・防災対策課・環境上下水道課)が利用している。現状、施設について大きな支障はないが、今後、適切な施設マネジメントのもと、継続的に維持管理を行う必要がある。			
今後のあり方	現状、施設について大きな支障はないが、今後、適切な施設マネジメントのもと、継続的に維持管理を行う。			
方針	1	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。	マネジメント期	-

(5) 施設を構成する主な建物または劣化箇所

農業振興センター		農業振興センター内部	
倉庫		倉庫内部	

◆個別施設計画

(1) 施設概要

施設名称	平山木工所	所属課	定住推進課まちづくり班
大分類	産業系施設	中分類	産業系施設
所在地	土佐山田町平山459	総延床面積 (㎡)	104.32
設置目的・役割	自然的資源を有効活用し、都市住民との交流を通じた中山間地域の活性化と住民福祉の増進に資する。		
根拠条例等	香美市平山木工所の設置及び管理に関する条例		

(2) 施設を構成する主な建物及び更新等推計費用

建物名・棟名	延床面積 (㎡)	構造	建築年月日	建築後30年後 大規模改修費 (千円)	建築後60年後 建て替え費 (千円)
平山木工所	104.32	木造	2005/3/17	26,080	41,728

(3) 施設老朽化判定 (主な建物のみ表示)

現地 (目視) 調査による建物老朽化判定					
屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
B	B	A	A	A	90

(4) 実施計画

	実施年度	主な工事業	工事業費 (千円)
施設に係る 主な工事業 (予定含む)			
管理上の課題	管理運営については、平成17年度から指定管理者を平山地区振興協議会に指定し、3年毎に協定書を締結している。現状、施設について大きな支障はないが、今後、適切な施設マネジメントのもと、継続的に維持管理を行う必要がある。		
今後のあり方	現状、施設について大きな支障はないが、今後、適切な施設マネジメントのもと、継続的に維持管理を行う。現在、平山地区振興協議会が指定管理者として施設管理を行っており、今後も管理状況が良好であれば、同協議会を指定管理者とし、公募によらず選定を行う。		
方針	1	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。	マネジメント期 -

(5) 施設を構成する主な建物または劣化箇所

平山木工所		屋根・屋上	
天井		内部	

◆個別施設計画

(1) 施設概要

施設名称	新改北部構造改善センター（平山地区公民館）	所属課	農林課農政班/中央公民館
大分類	産業系施設	中分類	産業系施設
所在地	土佐山田町平山484-1	総延床面積（㎡）	231.14
設置目的・役割	設置地区住民の農業技術の改善と普及、生活環境の整備、地域住民相互間における交流を促進するための講習、講演、研修等を通じて、地域住民が豊かで生きがいのある安定して生活を送ることができることを目的として設置する。		
根拠条例等	香美市立新改北部構造改善センターの設置及び管理に関する条例/香美市立公民館設置条例		

(2) 施設を構成する主な建物及び更新等推計費用

建物名・棟名	延床面積（㎡）	構造	建築年月日	建築後30年後 大規模改修費（千円）	建築後60年後 建て替え費（千円）
新改北部構造改善センター	231.14	鉄骨造	1991/3/28	57,785	92,456

(3) 施設老朽化判定（主な建物のみ表示）

現地（目視）調査による建物老朽化判定					
屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
A	A	A	B	B	93

(4) 実施計画

施設に係る 主な工事事業 (予定含む)	実施年度	主な工事事業	工事事業費（千円）	
	平成27年度	平山地区公民館空調工事	2,762	
令和元年度	集落活動センター平山改修工事設計管理委託業務	660		
令和元年度	集落活動センター平山改修工事	8,250		
管理上の課題	地区公民館及び集落活動センターとして利用されており、年間を通して利用回数は多い。利用状況や修繕等の報告は、担当課を通じて連絡を受けるようになっており、実態を把握するには時間差がある。			
今後のあり方	令和元年度に集落活動センター機能の充実のため、建物の改修を行っている。今後も集落活動の拠点として活用される予定である。			
方針	1	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。	マネジメント期	-

(5) 施設を構成する主な建物または劣化箇所

新改北部構造改善センター		屋根・屋上	
内部		内部	

◆個別施設計画

(1) 施設概要

施設名称	繁藤地区生活改善センター	所属課	農林課農政班
大分類	産業系施設	中分類	産業系施設
所在地	土佐山田町角茂谷西藤野瀬	総延床面積 (㎡)	133.65
設置目的・役割	農村生活近代化のため、繁藤地区住民に農村技術の普及と生活の改善、講習、講演等を通じて実生活の向上を図ることを目的として設置する。		
根拠条例等	香美市立繁藤地区生活改善センターの設置及び管理に関する条例		

(2) 施設を構成する主な建物及び更新等推計費用

建物名・棟名	延床面積 (㎡)	構造	建築年月日	建築後30年後 大規模改修費 (千円)	建築後60年後 建て替え費 (千円)
繁藤地区生活改善センター	133.65	鉄骨造	1975/4/1	33,413	53,460

(3) 施設老朽化判定 (主な建物のみ表示)

現地 (目視) 調査による建物老朽化判定					
屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
D	B	C	C	C	47

(4) 実施計画

	実施年度	主な工事業	工事業費 (千円)
施設に係る 主な工事業 (予定含む)			
管理上の課題	地域の集会所としての活用の他は、年数回の使用しかない。		
今後のあり方	現在、修繕費として大きいものはないため、地域の集会所として使用してもらう。今後、修繕費が高むようであれば地元との協議のうえ、施設の除却解体へと移行していく。		
方針	5	施設の除却・解体等の検討を行う。	マネジメント期 4

(5) 施設を構成する主な建物または劣化箇所

繁藤地区生活改善センター		天井	
内部		内部	

◆個別施設計画

(1) 施設概要

施設名称	菌床生産センター	所属課	香北支所市民生活班
大分類	産業系施設	中分類	産業系施設
所在地	香北町大井平255	総床面積 (㎡)	1,942.26
設置目的・役割	農業の振興及び農村地域の生活環境改善に寄与するため、農業者が自主的に菌床椎茸を栽培、開発をする場として設置		
根拠条例等	香美市行政財産使用料条例		

(2) 施設を構成する主な建物及び更新等推計費用

建物名・棟名	延床面積 (㎡)	構造	建築年月日	建築後30年後 大規模改修費 (千円)	建築後60年後 建て替え費 (千円)
菌床製造棟、第1培養棟	1,384.24	鉄骨造	1991/3/20	346,060	553,696
第2培養棟	283.62	鉄骨造	1992/2/4	70,905	113,448
第3培養棟	274.40	鉄骨造	1993/3/10	68,600	109,760

(3) 施設老朽化判定 (主な建物のみ表示)

現地 (目視) 調査による建物老朽化判定					
屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
C	B	B	B	B	72

(4) 実施計画

	実施年度	主な工事業	工事業費 (千円)
施設に係る 主な工事業 (予定含む)			
管理上の課題	賃貸借契約 (土地) 及び使用貸借契約 (土地以外、無償) について、香北町菌床生産組合と年度毎に締結しており、無償については、議会議決が必要である (地方自治法第96条第1項第6号)。また、修繕等については、市の承認を得て組合が費用を負担し実施する契約になっているため、事前の連絡調整に注意が必要である。		
今後のあり方	平成2年度から平成4年度にかけて補助事業で施設整備を行ったため、建設後35年経過した2028 (令和10) 年4月以降に無償譲渡を検討する。		
方針	4	売却や譲渡等の検討を行う。	マネジメント期 3

(5) 施設を構成する主な建物または劣化箇所

菌床製造棟、 第1培養棟		菌床製造棟、 第1培養棟 天井	
第2培養棟		第3培養棟	

◆個別施設計画

(1) 施設概要

施設名称	大井平体験実習館	所属課	香北支所地域振興班
大分類	産業系施設	中分類	産業系施設
所在地	香北町大井平557-1	総延床面積 (㎡)	81.15
設置目的・役割	市民及び都市生活者等に農林業に対する理解を深める機会と健全な余暇活動の場を提供し、農林業者等の就業機会を増大し、農家経済の安定向上及び市の文化財を保存し、かつ、その活用を図りもって市民の文化向上に資するため。		
根拠条例等	香美市体験実習館の設置及び管理に関する条例		

(2) 施設を構成する主な建物及び更新等推計費用

建物名・棟名	延床面積 (㎡)	構造	建築年月日	建築後30年後 大規模改修費 (千円)	建築後60年後 建て替え費 (千円)
体験実習館	81.15	木造	1992/3/31	20,288	32,460

(3) 施設老朽化判定 (主な建物のみ表示)

現地 (目視) 調査による建物老朽化判定					
屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
B	B	B	B	B	75

(4) 実施計画

施設に係る 主な工事業 (予定含む)	実施年度	主な工事業		工事業費 (千円)	
管理上の課題	施設の維持管理は、地元組織の大梅婦人グループが指定管理者として行っている。現状、施設について大きな支障はないが、施設の利用は年々減少傾向にあり、直近では年10回の利用となっている。				
今後のあり方	近年は、地元婦人グループによる農産物加工品の製造及び地元農業者の会合に利用されているだけであるため、地元自治会へ現状のまま払い下げを行う。なお、払い下げが不調の場合は、施設の除却解体を行う。				
方針	4	売却や譲渡等の検討を行う。		マネジメント期	2

(5) 施設を構成する主な建物または劣化箇所

体験実習館		屋根・屋上	
内部		内部	

◆個別施設計画

(1) 施設概要

施設名称	地場産品の店直販店	所属課	香北支所地域振興班
大分類	産業系施設	中分類	産業系施設
所在地	香北町大井平557-1	総延床面積 (㎡)	19.87
設置目的・役割	生産者が農林水産物及び加工製品等を直販する施設として、また地域住民と来訪者とのコミュニティーの場として活用することにより「まちと村」の交流を深め、山村地域の活性化を図ることを目的とする。		
根拠条例等	香美市農林水産物直販所の設置及び管理に関する条例		

(2) 施設を構成する主な建物及び更新等推計費用

建物名・棟名	延床面積 (㎡)	構造	建築年月日	建築後30年後 大規模改修費 (千円)	建築後60年後 建て替え費 (千円)
地場産品の店	19.87	木造	1988/3/31	4,968	7,948

(3) 施設老朽化判定 (主な建物のみ表示)

現地 (目視) 調査による建物老朽化判定					
屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
C	C	B	B	B	62

(4) 実施計画

施設に係る 主な工事業 (予定含む)	実施年度	主な工事業		工事業費 (千円)	
管理上の課題	本施設は、生産者が農林水産物及び加工製品等を直販する施設として建設されたが、近年は開店したことはなく、再開の目処もない。現状、施設について大きな支障はないが、施設を活用する予定はなく、営業当時の物品の倉庫として利用しているのみである。				
今後のあり方	隣接する大井平体験実習館と一体的に活用する施設であるため、大井平体験実習館と併せて地元自治会へ現状のまま払い下げを行う。なお、払い下げが不調の場合は、施設の除却解体を行う。				
方針	4	売却や譲渡等の検討を行う。		マネジメント期	2

(5) 施設を構成する主な建物または劣化箇所

地場産品の店		屋根・屋上	
内部		外部	

◆個別施設計画

(1) 施設概要

施設名称	滝の茶屋直販所	所属課	香北支所地域振興班
大分類	産業系施設	中分類	産業系施設
所在地	香北町猪野々袖ノ木181-1	総延床面積 (㎡)	13.75
設置目的・役割	生産者が農林水産物及び加工製品等を直販する施設として、また地域住民と来訪者とのコミュニティの場として活用することにより「まちと村」の交流を深め、山村地域の活性化を図ることを目的とする。		
根拠条例等	香美市農林水産物直販所の設置及び管理に関する条例		

(2) 施設を構成する主な建物及び更新等推計費用

建物名・棟名	延床面積 (㎡)	構造	建築年月日	建築後30年後 大規模改修費 (千円)	建築後60年後 建て替え費 (千円)
直販所	13.75	木造	1988/3/31	3,438	5,500

(3) 施設老朽化判定 (主な建物のみ表示)

現地 (目視) 調査による建物老朽化判定					
屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
C	C	B	B	B	62

(4) 実施計画

施設に係る 主な工事業 (予定含む)	実施年度	主な工事業		工事業費 (千円)	
管理上の課題	本施設は市有であるが、長年、鍵の管理は地元の猪野々自治会が行っている。また、本施設は、生産者が農林水産物及び加工製品等を直販する施設として建設されたが、隣接する猪野々自治会所有の製品加工場は長年稼働しておらず、再開の目処もないため、現状、本施設は猪野々自治会が不定期に開催する催し物の展示物等の倉庫として利用されている。				
今後のあり方	唯一の利用者であり、隣接施設の所有者でもある猪野々自治会へ、現状のまま払い下げを行う。なお、払い下げが不調の場合は、施設の除却解体を行う。				
方針	4	売却や譲渡等の検討を行う。		マネジメント期	1

(5) 施設を構成する主な建物または劣化箇所

直販所		屋根・屋上	
内部		天井	

◆個別施設計画

(1) 施設概要

施設名称	奥物部ふるさと物産館	所属課	物部支所地域振興班
大分類	産業系施設	中分類	産業系施設
所在地	物部町大柄872-2	総延床面積 (㎡)	386.98
設置目的・役割	特産品の販売・地元雇用・交流促進等、地域の活性化を目的とする。		
根拠条例等	香美市交流促進施設の設置及び管理に関する条例		

(2) 施設を構成する主な建物及び更新等推計費用

建物名・棟名	延床面積 (㎡)	構造	建築年月日	建築後30年後 大規模改修費 (千円)	建築後60年後 建て替え費 (千円)
本館	261.95	木造	1997/3/25	65,488	104,780
生産物直販所	119.93	木造	1997/3/25	29,983	47,972
LPG庫	5.10	コンクリートブロック	1997/3/25	1,275	2,040

(3) 施設老朽化判定 (主な建物のみ表示)

現地 (目視) 調査による建物老朽化判定					
屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
B	B	B	B	B	75

(4) 実施計画

施設に係る 主な工事業 (予定含む)	実施年度	主な工事業	工事業費 (千円)	
	平成30年度	スポットエアコン修繕		572
管理上の課題	現在、指定管理による施設の管理者がおらず、物部支所が直接管理を行っている。また、老朽化に伴い修繕を行う必要がある。			
今後のあり方	新たな指定管理者の指定を検討し、場合によっては、その他の利活用の検討も行う必要がある。			
方針	1	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。	マネジメント期	-

(5) 施設を構成する主な建物または劣化箇所

本館		生産物直販所	
LPG庫		本館2階 展示室	

◆個別施設計画

(1) 施設概要

施設名称	小浜農産物直販施設	所属課	物部支所地域振興班
大分類	産業系施設	中分類	産業系施設
所在地	物部町小浜732-4	総延床面積 (㎡)	90.72
設置目的・役割	地域内就働と直販による所得の増大を図るため。		
根拠条例等	香美市小浜農産物直販所の設置及び管理に関する条例		

(2) 施設を構成する主な建物及び更新等推計費用

建物名・棟名	延床面積 (㎡)	構造	建築年月日	建築後30年後 大規模改修費 (千円)	建築後60年後 建て替え費 (千円)
直販所	90.72	木造	1983/2/22	22,680	36,288

(3) 施設老朽化判定 (主な建物のみ表示)

現地 (目視) 調査による建物老朽化判定					
屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
B	B	B	B	B	75

(4) 実施計画

	実施年度	主な工事業	工事業費 (千円)
施設に係る 主な工事業 (予定含む)			
管理上の課題	現在のところ、特に問題となっているところはないが、建物の老朽化が見受けられる。		
今後のあり方	小浜自治会が指定管理者として施設管理を行っており、今後も管理状況が良好であれば、同自治会を指定管理者とし、公募によらず選定を行う。		
方針	1	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。	マネジメント期 -

(5) 施設を構成する主な建物または劣化箇所

直販所		天井	
内部		内部	

◆個別施設計画

(1) 施設概要

施設名称	農林漁業体験実習館	所属課	物部支所地域振興班
大分類	産業系施設	中分類	産業系施設
所在地	物部町別府373-5	総延床面積 (㎡)	640.20
設置目的・役割	農林業者等の就業機会を増大し、農家経済の安定向上及び市の文化財を保存し、かつ、その活用を図りもって市民の文化向上に資するため。		
根拠条例等	香美市体験実習館の設置及び管理に関する条例		

(2) 施設を構成する主な建物及び更新等推計費用

建物名・棟名	延床面積 (㎡)	構造	建築年月日	建築後30年後 大規模改修費 (千円)	建築後60年後 建て替え費 (千円)
農林漁業体験実習館	640.20	鉄骨ｺﾝｸﾘｰﾄ	1986/10/15	160,050	256,080

(3) 施設老朽化判定 (主な建物のみ表示)

現地 (目視) 調査による建物老朽化判定					
屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
A	B	B	B	B	77

(4) 実施計画

施設に係る 主な工事事業 (予定含む)	実施年度	主な工事事業	工事事業費 (千円)	
	平成29年度	雨漏り修繕		8,856
管理上の課題	老朽化に伴い施設、設備の修繕を行う必要がある。			
今後のあり方	現在、へふ峡保勝会による指定管理を行っている。今後、大規模改修が必要になった場合には、費用対効果を検証し、今後のあり方を検討する必要がある。			
方針	1	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。	マネジメント期	-

(5) 施設を構成する主な建物または劣化箇所

農林漁業体験実習館		2階展示室 天井	
1階 農産物加工室		2階展示室	